

平成25年度 魚沼市道徳部 活動報告

部長 首藤 和明

1 はじめに

魚沼市教育振興会道徳部は、小学校の部員13名が中学校部員11名と合同で部会を構成している。魚沼市学校教育の方針である「人や文化とかかわりながら、豊かな心を育む」の実現を念頭に、道徳部員が中心になり各校で実践的研修を行っている。

2 活動の概要

夏季休業中に小中合同の研修会を開催し、教育課程研究集会の伝達講習と外部講師による講演会を実施した。実践例をもとにした自校化に向けての協議、魚沼の自然や人々に親しみながら感性を磨く教育・心に響く道徳教育について研修した。

3 活動の実際

(1) 教育課程研究集会伝達講習

伝達者 小出小学校 松井祐太 教諭

前半は、①道徳の時間及び各教科等の年間指導計画作成は全体計画と関連させ、指導内容や時期等を配慮して相互に効果を高め合うようにすること、②道徳の時間の充実・指導方法の工夫、などについて伝達された。

後半の部会報告では、授業を充実したものにするために、道徳ノートや役割演技を活用した事例をもとにして実践的な内容を学ぶことができた。



(2) 講演会

「小出郷文化会館の概要と文化のまちづくり」

講師 館長 桜井 俊幸 様

音楽活動で自らの感性を日々磨いておられる桜井館長様から、文化のまちづくりに向けた願いや、アイデアに基づく事業についてお聞きした。

「住民による文化を育む会」代表として、会館建設の基本構想に「世界一・日本一のホールではなく、この地域にとってベストの会館」づくりを提案し、17年経った今でもその理念を失わずにおられることをお聞きた。

現在の会館運営に当たっても、会館は芸術文化の核施設であり、様々な交流の場としたいという強い熱意が伝わってきた。

事業そのものが「子どもたちの感性を磨く教育の場」であるとのお話に、参加者一同感銘を受けた。



4 おわりに

道徳教育について、最新の情報に注視しながら、豊かな自然や伝統芸能・文化的遺産など「ふるさと力」生かした指導を進めていくことが重要である。郷土への愛着と誇りをもたせ、地域と関わり合いながら豊かな心を育む指導となるよう取り組んでいく。